

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

事 業 名 【新】次期工事情報保管管理システム運用保守業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111(内4573)

E-mail : c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,690 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | | | | | | | | |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 今年度 要求額 | 30,690 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30,690 |
| 決定額 | 30,690 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30,690 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

工事情報保管管理システムは、建設工事・設計業務委託で作成される電子納品及び関連する電子データを共通サーバで一元的に管理することで、電子データの劣化・損失を防止し、有効活用を図るシステムである。登録されたデータは、県域統合型GISで検索が行えるほか、データの閲覧・ダウンロードにより、業務に利活用されている。

現行システムは、令和2年度より稼働しており、令和6年度をもって、保守対応が終了する。したがって、令和7年4月1日より次期工事情報保管管理システムを運用するために、令和6年度中に次期運用保守業務契約を締結する必要がある。

(2) 事業内容

電子納品及び関連データの保管、管理、利活用を目的とした工事情報保管管理システムの運用保守を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県独自のシステムであるため)

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|---------|
| 委託料 | 30,690 | |
| 合計 | 30,690 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

47都道府県中、35都府県で同様の電子納品保管管理システムを導入

(3) 後年度の財政負担

令和11年度まで、債務計画により運用費用が必要

| | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 合計(千円) |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 運用費 | 30,690 | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 42,590 |
| 合計(千円) | 30,690 | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 2,380 | 42,590 |

(4) 事業主体及びその妥当性

建設4部が所有している電子データは、岐阜県が建設・維持管理する施設の重要な情報資産であり、後年、維持管理に必要となるデータを適切に保管管理する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

| | |
|-------------------------------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 建設工事・設計業務委託で作成される電子納品データを適切に保管管理し、設計積算、維持管理等に利活用を進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | R9年度 目標 | R10年度 目標 | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| / | / | / | / | / | / | / | / |

○指標を設定することができない場合の理由

システム運用保守の委託料であり、特に指標となる数値はない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|---|
| 令和 3 年度 | / |
| 令和 4 年度 | / |
| 令和 5 年度 | / |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|-----------------------------------|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 なし</p> |
|-----------------------------------|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設維持管理に必要な工事データを保管するために今後も必要な事業である。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | 【〇〇課】 |